

第5回道後公園（史跡湯築城跡）整備検討委員会の開催結果

1 委員会の名称 道後公園（史跡湯築城跡）整備検討委員会

2 開催日時 令和8年8月18日（水曜日）午前10時00分から午前11時30分まで

3 開催場所 愛媛県庁第2別館10階1006会議室

4 出席者 委員8名、文化庁1名、事務局7名、県・市関係機関5名

5 審議事項（議事）

- (1) 植栽管理計画の策定方針について
- (2) ライトアップ計画の成果報告について

6 審議の内容（全部公開）

議事（1）植栽管理計画の策定方針について

以下の内容を審議した結果、委員会の賛同を得た。

（詳細は別添「資料1：植栽管理計画の策定方針について」を参照）

◆計画方針

- ・目的：樹木が大きく成長していることや老木化により史跡保存や景観・公園の安全利用の観点から、史跡価値の顕在化や桜を含む安全で快適な利用環境といった、文化財保護と公園機能を両立する植栽管理計画を策定する。
- ・方針：上位計画（史跡湯築城跡保存管理計画・道後公園（史跡湯築城跡）整備計画）にて歴史的価値や利用形態に応じて設定された地区区分をもとに、植栽管理の視点から「歴史景観保全」「復元景観演出」「利用環境形成」の区分として管理の方向性を整理する。

議事（2）ライトアップ計画の成果報告について

以下の内容を審議した結果、計画の一部についてを再検討することとなった。

（詳細は別添「資料2：ライトアップ計画の成果報告について」を参照）

◆計画内容

- ・目的：ライトアップによる道後公園の魅力向上を行い、道後温泉本館のリニューアルで増加している観光客をメインターゲットに、道後地区での滞在時間延伸と新たな観光需要の創出や史跡としての認知度の向上を図ることを目的とする。
- ・ライトアップ箇所：入口周辺（北口・西口）・湯釜薬師・西側外堀・復元エリア・展望台

7 委員会での主な意見

(植栽管理計画)

- 史跡を傷めるおそれのある樹木や来園者に影響のある危険木は的確に速やかに伐採すべき。
- 史跡価値を高めるためには、園外から見たときに城として認識できるような樹木整理が必要。
- 地元住民の理解を得ながら進めていくことが重要。
- 上級武士居住区から内堀の岩場が見えるような計画が必要。

(ライトアップ)

- 夜間に湯築城跡を認識する一つのサインとしてライトアップは有効。
- 史跡を顕在化させるという視点が必要。
- 夜間ならではの城跡の見せ方の工夫が必要。
- 周辺環境への影響を考慮し、点灯時期や時間の検討が必要。

〔審議会事務局〕 土木部道路都市局 都市整備課公園緑地係 電話 089-912-2749 FAX 089-912-2744
